

# いちゃゆん タイムス

## 生活支援体制整備事業とは??

我が国の65歳以上の高齢者人口は、2020年12月1日現在で約3,617万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）は28.7%となり、過去最高の更新が続いている状況となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、この割合は今後も上昇を続け、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、3,657万人で30.3%になると見込まれています。

八重瀬町でも、総人口31,813人に対して65歳以上の高齢者人口は、2020年12月1日現在で6,923人となり、高齢化率は21.8%で超高齢社会を迎えています。

国連によると・・・  
65歳以上の人口が…

7%以上	高齢化社会
14%以上	高齢社会
21%以上	超高齢社会

そのような状況の中、平成27年度に介護保険制度が改正され、介護予防給付の一部である介護予防訪問介護及び介護予防通所介護は、各市町村が地域の实情に応じた取組を行うことができる「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」へと移行されることになり、地域住民やボランティアなど地域の多様な主体を活用しながら、高齢者を支援していく地域のニーズに沿った制度へと生まれ変わりました。

八重瀬町社会福祉協議会では、地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実を図るため、「生活支援体制整備事業」を町役場より受託し、実施することとしました。具体的には、「生活支援コーディネーター」と「協議体」を設置し、生活支援コーディネーターが協議体のネットワークを生かしながら地域の互助を高め、住民主体のサービスが活性化されるよう地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めます。

## 生活支援コーディネーターとは??

日常生活上の支援が必要な高齢者が「住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けていく」ために様々なサービスの提供体制を充実させることや地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主にニーズ調査や地域資源開発、ネットワーク構築などの機能）を果たす人です。

## 協議体とは??

協議体とは、地域に支え合いの輪を広げて行くために、生活支援コーディネーターと地域住民同士等で話し合う場です。八重瀬町では、町内全域を対象とした第1層協議体を設置した上で、各地域の实情に合った話し合いの場作りを進めます

## 生活支援コーディネーターの紹介♪

9月より生活支援コーディネーターの担当になりました知念篤生です。コロナ禍で活動が制限されている状況にありますが、地域住民の皆様のお力になれるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



高齢化の進展に伴い、地域では、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増えていきます。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、医療や介護サービスだけでなく、日常的な「生活支援」や「介護予防」が必要です。

**生活支援体制整備事業**では、医療や介護サービスだけでは解決しづらい暮らしの困りごとに対応する「生活支援」(例:大きな家具の移動、お庭の手入れ等)や高齢者が楽しく取り組める「介護予防」(例:体操、脳トレ等)の充実を行政サービスのみならず、地域住民をはじめ、民生委員児童委員や民間企業、NPO、ボランティア、社会福祉法人、協同組合、商工会等の多様な団体が協力し合い、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、みんなで支え合う地域づくりを目指しています。

## 《東風平地域の一部のお宝 (支え合い) 紹介》

### 東風平ゆんたく会の取り組み



目的：地域の支え合いの活動として、東風平地区の住民でお茶を囲んで会話を楽しんだり、軽い運動することで「介護予防」に取り組んでいます。また、日中の居場所として「集いの場」になっています。地域の独居の方が外に出るきっかけや同じ地域に住んでいるが面識、交流のない方がゆんたく会を通して交流を持ち、「顔の見える関係性」「助け合いの地域づくり」を目指しています。

## ～ 地域のお宝情報を募集しています！！ ～

皆さんの暮らしの中にも、お宝（支え合い）はありませんか？「いつも2、3人で集まってユンタクしているよ」「地域の子供達と高齢者がラジオ体操をしているよ」など、普段の何気ない暮らしの中にこそ、素敵なお宝が隠れています。皆さんの身近にあるお宝情報がございましたら、ぜひ八重瀬町社会福祉協議会まで情報をお寄せ下さい。

**お問い合わせ先** 八重瀬町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター担当 (知念 篤生)  
TEL: 998-4000